

13期 外国文化を楽しむ科

2025年度

～ まだまだ知りたいいろいろな国のこと ～

日時： 7月9日（水）10時～12時

場所： ONCC 豊中教室

演題： 南米ブラジルの文化

講師紹介： 西村 ダニエレ あゆみ さん

ブラジル サンパウロ産まれの日系三世

歯科医師 現在大阪大学歯学部口腔放射線学 博士課程在学中

■講演内容要約

1. ブラジルの国家、国土、人口、言語、宗教など

- ・国旗：緑—森、黄—鉱物資源・金、青—空、白—平和 星—州の数 → 
- ・国土：850万平方キロ [世界第5位]
- ・人口：2億1500万人 ・平均寿命：76歳（2020年）
（白人47.7%、混血43.1%、黒人7.6%、日系人1.1%、先住民族0.4%）
- ・宗教：ローマカトリック（65%）、イスラム教（22%）、なし8%
- ・言語：公用語はポルトガル語
- ・貨幣：レアル [100円=3.77レアル]
- ・首都：ブラジリア ・最大都市：サンパウロ
- ・食べ物：米、大豆が主食であるが、果物、特にバナナは種類も多い。
- ・音楽：サンバ、ボサノバが盛んで、世界的に知られている。
楽器としては、スルド、カイシャ、タンボリンなどがある。
- ・観光：イグアスの滝、コルコバードの丘のキリスト像 が有名。
- ・動物：国土が広く、アマゾンの流域面積も広大で多くの生き物が生息している。

カピバラ、ジャガー、オニオオハシ、タイラ、カワウソ、アルマジロなど珍獣、固有種が多い。

- ・産業：農産物、特にコーヒー、米は世界に輸出されている。
- ・移民：世界全体の日系人は360万人以上、内6割の213万人が中南米で暮らしている。

2. 日本人のブラジル移民：

19世紀末、日本では人口増加と生活苦から海外移住を望む人は多く、一方ブラジルでは奴隷解放により農業人口が減り、外国からの移民が歓迎されていた。そのような事情の下、1908年日本は国策としてブラジルへの船による移民（781人）の輸送はじめた。爾来1973年まで約25万人の人が送られた。移民たちは過酷な労働、言語の壁、劣悪な医療体制のもとに苦難に耐えて頑張った。現在ブラジルに日系人は190万人となり、政治、経済、産業、科学技術、文化などのあらゆる分野で活躍している人が多い。

■感想

- ・講師は日系三世の歯科医であり、来日3年にしては日本語も良くできる。しかし、ブラジルの広大な土地における多様な生活や文化を網羅的に説明するのに、1時間半の時間は余りにも短い。その中で、「日本人のブラジル移民」の動画は、「より詳しく調べて見たい」という衝動の引き金になった。
- ・地理的に遠いブラジルですが、多くの身近な話を聞くことが出来てブラジルの存在が近いものになりました。移民の歴史の話はとても興味深かった。



（文責2班）